

## 令和5年度 事業報告

### I 事業概況

公益社団法人島根県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）は第5次中期事業計画を定め、令和6年度における「会員6,000人の就業を支える連合体制整備」の実現に向けて取り組んでいます。5月には、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類に変更され、社会・経済活動も徐々に活発になる中、「成果（期待効果）を重視したメリハリの効いた事業展開」を加速し、目標達成への道筋をより明らかなものとするよう取り組みました。

その基軸となる未設置地域の解消や会員拡大の底上げに向けた大田市内への連絡所の開設をはじめとする積極的予算からのスタートでしたが、シルバー人材センター連合が行う労働者派遣事業（以下「シルバー派遣事業」という。）の契約金額が目標を上振れするなど、当期経常増減額もプラスにすることができました。もとより、以下の諸取組もあって、会員数及び事業実績も全国的な動向を大きく上回る成果となっています。

また、各センターにおいて、円滑な対応が懸念されていたインボイス制度は事業実績及び業務運営に大きな影響は現時点ではなく、フリーランス新法に関しても令和6年11月施行が目前に迫るなかでデジタル活用など環境や準備が整いつつあります。

### II 個別事業

#### 1. シルバー人材センター事業

連合会は、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）の理事会において決議された「第2次会員100万人達成計画」の目標等を反映した「会員数5,550人」、及び島根県が「島根創生計画」で定めたKPI（重要業績評価指標）の数値である「シルバー派遣事業の契約件数1,320件」を目標に、次の取組を行いました。

会員数は、国庫補助対象団体のうち4団体がプラスに転じ、あわせて9団体が前年度を上回りましたが、目標値との乖離は大きくなり、達成・進捗率は前年度比△10.1ポイントとなり80%を割りました。

一方、シルバー派遣事業における契約件数については、新規派遣先事業所の開拓はもとより、短期の需要にきめ細かく対応するなどの取組を行い、目標を大きく上回る結果となりました。

### 令和5年度 事業実績

	会員数 (人)	受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (千円)
実績値	4,403	33,102	325,537	1,779,474
受託事業	—	31,599	208,521	1,252,757
派遣事業	—	1,503	117,016	526,717
目標値	5,550	1,320	—	—
差	△ 1,147	183	—	—
達成・進捗率(%)	79.3%	113.9%	—	—
前年同月実績値	4,293	34,823	317,031	1,729,078
受託事業	—	33,612	214,871	1,274,991
派遣事業	—	1,211	102,160	454,087
増 減	110	△ 1,721	8,506	50,396
受託事業	—	△ 2,013	△ 6,350	△ 22,234
派遣事業	—	292	14,856	72,630
対前年比(%)	102.6	95.1	102.7	102.9
受託事業	—	94.0	97.0	98.3
派遣事業	—	124.1	114.5	116.0

※ 受注件数の「目標値」「差」「達成・進捗率」は派遣事業における契約件数に限る

#### (1)共同受託事業

島根県内において、複数地域にわたる受託事業を遂行する場合に、連合本部が関係センターと調整の上で需給調整する（共同受託事業）こととしていますが、これに該当する案件及び実績はありませんでした。

#### (2)職業紹介事業及び労働者派遣事業(シルバー派遣事業)

会員拡大において、これまでとは異なった層（いわゆる「経済的理由から働く必要がない」「引退して好きなことを楽しみたい」等の理由から、必ずしも働くことに意欲が高くない者など）へのアプローチを図るにあたり、次の取組を行いました。

##### ① 職業紹介事業

令和5年度の実施状況は下表のとおりです。ハローワークやミドル・シニア仕事センターなどの職業紹介機関において、島根県内で高齢者就職支援を広範かつきめ細やかに行われていることもあって、有料の職業

紹介事業の運用に至らない状況が続いています。

そのような中で、シルバー派遣契約終了後に当該会員と事業所が直接雇用に至る事案が生じていることを踏まえ、全シ協及び近隣の連合会より実施状況等の情報収集を行いましたがいまだに実現には至りませんでした。

	求 職	求 人		就 職	
	求職件数 (件)	求人件数 (件)	求人延数 (人日)	就職件数 (件)	就職延数 (人日)
実績値	0	0	0	0	0
対前年増減	0	0	0	0	0

## ② 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

令和5年度の事業実績は下表のとおりです。いずれの項目も順調に推移しており、会員拡大に寄与していることが見て取れます。

その一方で、事業拡大及び令和6年4月からの労働基準法施行規則等の改正（無期転換申込機会の明示等）に伴う事務処理負担が想定以上に大きくなっており、さらなる事務効率化やマンパワーの拡充など、シルバー派遣事業を拡充するために必要な仕組み・体制の整備が喫緊の課題となっています。

	派遣労働登録会員数（人）			契約件数 (件)	就業 実人員 (人)	就業 延人員 (人日)	契約金額 (千円)
	男性	女性					
実績値	2,211	1,152	1,059	1,504	1,523	117,016	526,717
前年度	2,091	1,118	973	1,211	1,380	102,160	454,087
対前年度増減	120	34	86	293	143	14,856	72,630
対前年度比（%）	105.7%	103.0%	108.8%	124.2%	110.4%	114.5%	116.0%

### ア. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の展開

過去4年間の「中山間地域等におけるシルバー派遣事業の展開」の取組を基盤とし、新たに「潜在的な高齢者の労働力活用モデル事業」に着手しました。令和5年度は、大田市に連絡所を開設の上、職員2名体制で、後記イと相まって新規会員及び派遣先事業所の拡大に取り組んだところ、派遣登録会員数124名（30名増）となりました。

契約実績も、契約件数127件（対前年度比178.9%）、実人員数89人（同161.8%）、就業延人員5,401人日（同228.5%）、契約金額20,361千円（同252.9%）の実績を得ることができました。就業率も71.8%と前年度から13.9ポ

イント上昇しています。

また、事務の効率化等にあたり「ICTによる会員向け就業情報提供サービス」などのモデル事業としての新たな取組を行うほか、広域化も視野に置いた国庫補助対象団体への移行の下準備として、関係団体等の調整等を進めました。

## イ. 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

人材不足分野・現役世代を支える分野での就業を拡充するにあたり、未だシルバー人材センターを活用していない事業所や地域の高齢者に対する周知・広報や技能講習等を次のとおり実施しました。

その結果、新規会員数目標174人以上に対し、303人（達成率174.1%）を確保しました。

一方で、技能講習を柱として取組む地域を5カ所に拡大し、県西部での会員拡大及びシルバー派遣事業の底上げを図りましたが、想定した結果は得られず、次年度での見直しを余儀なくされました。

### a) 周知・広報

令和3、4年度に引き続いて新規会員数目標値が大幅に増加したことに伴い、新聞広告等各種媒体による周知・広報を強化しました。その中で、自治体広報紙における入会説明会の開催告知への反応が高まっています。あわせて、ホームページ・SNSへの反応も徐々に増えています。

一方、事業所に対する周知・広報（ダイレクトメールの発送）は、技能講習を実施する地域・業種に絞って行ったところ、前記アの地域にあつては、男性会員のニーズに応じた就業機会の確保が不足する傾向が見られました。

### b) 技能講習

引き続き、いずれの地域でも人手不足が課題となっている福祉・子育て分野での職員の周辺・補助的業務を担う人材の確保・育成を図るにあたり、下表のとおり8講習を実施しました。

前記のとおり、高齢者及び事業所への周知・広報と一体的に実施することで、開始者数及び入会者数割合の目標をいずれも達成しましたが、非会員による受講者は57名とやや低調で、主目的

である入会者数は29名と、令和2年度以前の2/3程度の水準にとどまりました。

(単位：人)

講習名	開催地域	開催時期	募集人数	実施状況							
				申込者数	開始者数	うち未会員数	修了者数	入会者数	就業者数		
									請負	派遣	
介護補助スタッフ育成講習	松江	10月	12	17	14	10	14	5	5	0	5
	出雲	11月	12	15	11	6	11	4	6	2	4
	大田	9月	8	12	10	4	9	1	4	0	4
	益田	7月	8	9	9	7	9	2	4	3	1
	隠岐の島	8月	8	7	7	2	7	2	5	0	5
保育補助スタッフ育成講習	松江	7月	12	16	13	10	11	4	5	1	4
	出雲	7月	12	16	14	12	13	8	9	0	9
	大田	6月	8	11	9	6	7	3	6	0	6
合計			80	103	87	57	81	29	44	6	38

c) 就労見学

技能講習の参加者のうち未入会者を対象に企画・実施しました。

しかしながら、対象を絞った影響もあって参加者0名という結果となり、勧奨方法も併せて課題を残しました。

d) 連絡会議

連合本部と関係機関及び労使団体等からなる「しまね高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議」を2回開催しました。

様々な角度から広く意見を求め、実施状況の評価及び好事例の選定、並びに次年度の計画に反映しました。

ウ) 島根県放課後児童クラブシルバー人材活用事業の実施

島根県(健康福祉部 子ども・子育て支援課)からの委託を受けて、放課後児童クラブでの補助的業務に従事する人材を養成するための技能講習等を、3地域において実施しました。

出雲及び益田地域での開催が夏休み以降であったことなど、放課後児童クラブでの就業開拓を十分に行うことができませんでしたが、1/4以上の修了者が放課後児童クラブで就業するなど、初年度としては想定以上の成果を上げることができました。

(単位：人)

講習名	開催地域	開催時期	募集人数	実施状況							
				申込者数	開始者数	うち未会員数	修了者数	入会者数	就業者数		
									児童クラブ	その他	
放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習	松江	7月	30	40	34	24	32	10	19	12	7
	出雲	10月	30	34	29	12	29	6	20	8	12
	益田	11月	30	23	23	19	22	0	8	3	5
合計			90	97	86	55	83	16	47	23	24

### (3)知識及び技能を付与するための講習

派遣先事業所を対象に行った満足度調査の結果を反映したキャリアアップ研修の体系化を図り、実施事業所にも周知しました。なお、令和5年度中には、重点地域において、次の研修を実施しました。

研修名	開催場所	募集人数 (人)	参加者数 (人)
基本研修1 ～派遣で働くための基本を振り返る	大田市	10	10
介護施設でのコミュニケーションを学ぶ	大田市	10	10
	隠岐の島町	10	7
スマホ活用(SNSを使ってみよう)研修 (登録編)	大田市	10	14
	隠岐の島町	10	7
スマホ活用(SNSを使ってみよう)研修 (活用編)	大田市	10	13
	隠岐の島町	10	5
合計		70	66

### (4)その他事業を発展させるための指導・相談、支援等

第5次中期事業計画の重点項目として掲げた「新規会員確保の取組」「安全・適正な就業環境の確保・維持」を推進するにあたり、下記のとおりセンターに対する指導・相談、支援を行いました。一方で、インボイス制度及びフリーランス新法（「業務委託契約における契約方法の見直し」を含む）に関しては、全国的な動向を見定めつつ、各センターの財政運営の安定化と会員数及び事業規模等の減少幅を極力抑えるよう指導・相談にあたりました。

その結果、前記のとおり、会員数とシルバー派遣事業が連動して順調に伸びているセンターがある一方で、横ばいあるいは減少傾向にあるセンターとが二極化しつつあります。さらには、経営的に支障をきたしているセンターも出てきていることが、大いに懸念されます。

#### ① 事務処理の共同化等の推進

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の取組と相まって、美郷町・大田市及び隠岐の島町において、シルバー派遣事業における実施事務所の事務を連合本部が実施しました。美郷町・大田市では、会員向け専用サイト（Smile to Smile）による就業情報等の提供・公開を行うなど、

デジタル化や広域化の推進を視野に、試行を重ねました。

## ② センターが実施する事業に対する指導・相談、支援

会員拡大の目標達成に向けたセンター主体の取組(自主・自立)を尊重した上で、次のとおり指導・相談、支援を行いました。

しかしながら、会員数目標と実態が大きく乖離しているセンターもあることから、「会員数の対前年同月比」を指標に加え、「段階的に右上がりの勢いを高める仕組み・体制を再構築」するよう促したこともあって、9センターが対前年度でプラスになっています。

### ア) 調査・研究

国及び全シ協等が実施するシルバー事業に関する調査に協力するとともに、連合本部においても、必要に応じてセンターに対して調査、情報提供を求め、本事業計画の推進にあたっての的確な対応に努めました。

さらに、会員及び派遣先事業所へのサービスの向上、並びにさらなる会員の獲得や就業機会・職域拡大を検討するにあたり、派遣先事業所を対象とした満足度・ニーズ調査を実施し、会員向け研修の企画・実施などの取組に反映しました。

### イ) 普及啓発

国による高年齢者就業確保措置に伴い、60歳台の新規入会者確保に少なからず影響が及んでいることから、「これらの措置の活用を選択しない」「労働市場において就労意識の必ずしも高くない」層に向け、シルバー派遣事業の特性及び就業例をより具体的に表した周知・広報活動等を行い、センターにおける新たな層の新規会員確保を後押ししました。とりわけ女性の入会増加に好影響を与え、新規入会者のうち女性の割合は48.8%と、ほぼ半数に近づいています。また、新規入会者数は令和元年度の水準まで回復しています。

しかしながら、事業所においても、賃上げや短時間での就労環境の整備を進めるなど、「臨・短、軽」の特性が活かしにくくなってきていることも否めません。

### ウ) 安全・適正な就業環境の確保・維持

会員の安全・安心な就業環境を確保するにあたり、センターにおけ

る事故防止対策等の実状と課題を、次のとおり諸取組に反映しました。

a) 安全就業対策（受託事業）

平成30年度以降取り組んでいる「就業前の自主点検」が定着しつつある一方で、傷害事故の発生件数は依然として増加傾向にあります。「事故発生時の検証・対策」を自主点検に反映するよう当該センターに対して「安全衛生管理上の欠陥」等の指摘を行うことで、徐々に意識の改善が見られるようになっていきます。一方で、従前からの申合事項である事故報告が履行されないセンターがあることが、改善の隘路となっています。

また、連合本部に対する全シ協の定期指導の際に改善指導を受けた飛び石事故の対策にあたり、各センターの状況調査の結果を踏まえた専門家の指摘事項を共有し、フリーランス新法への対応と併せて、作業計画書（見取り図）の作成を促しました。

① 傷害事故件数 (単位:件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就業中	34	27	27	32	31
途上	2	2	4	2	1
合計	36	29	31	34	32

② 度数率 (単位:%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
島根	31.39	27.06	28.32	31.65	30.69
全国	13.72	14.65	14.93	14.76	-
差	17.67	12.41	13.39	16.89	-

③ 強度率 (単位:%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
島根	2.57	0.06	0.43	3.52	0.06
全国	0.57	0.71	0.65	0.54	-
差	2.00	△ 0.65	△ 0.22	2.98	-

b) 安全就業対策（シルバー派遣事業）

事故件数は、昨年度より1件減少で横ばいです。そのうち、休業日数が4日以上（対前年度1件減）の事故は2件です。転倒による事故は4件から1件に減少した一方で、「動作の反動、無理な動作」が2件の増加となっています。

これまでのところ、各実施事業所における衛生委員会等での「事



故発生時の検証・対策」の状況を把握するに至っていないので、派遣元事業主としても確認作業を行う必要があると考えられます。

①労働災害発生件数(種別)

(単位:件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
業務災害	5	5	8	5	4
通勤災害	0	1	0	1	1
合計	5	6	8	6	5

②労災事故件数(事故の型)

(単位:件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒	3	2	4	4	1
はさまれ 巻き込まれ	0	2	1	0	0
激突	1	0	0	2	0
墜落・転落	1	1	0	0	0
切れ・こすれ	0	0	1	0	1
動作の反動 無理な動作	0	1	1	0	2
高温・低温の 物との接触	0	0	1	0	0
有害物等と の接触	0	0	0	0	1
合計	5	6	8	6	5

c) 適正就業対策

全国的に一斉実施する請負又は委任契約の「受注リスト」の点検作業を行い、その結果に応じて改善・見直しを求めました。

その一方で新たな契約方法への移行やデジタル化が進められる中で、これまで注力してきた会員に提示する業務仕様書の整備のあり方が不透明になりつつあることが懸念されます。

エ) 就業分野の開拓・拡充

介護・子育て分野を軸に、シルバー人材センターの「臨時的かつ短期的な就業、又は軽易な業務」の特性等を活かせる「非専門業務・周辺業務」での就業分野の開拓・拡充を促進しました。

その結果、新規派遣先事業所数は113社で、前年度及び前々年度を上回りました。一方で、介護・子育て分野が4割近くを占める

に至っていることから、コロナ禍からの社会情勢の変化に応じて、その他の分野への職域拡大が次の課題となります。

オ) 情報提供、指導・相談等

各センターが、国・島根県、及び全シ協の方針や制度改革等に的確かつ円滑に対応することができるよう、次のとおり専門的または実践的な情報提供、指導・助言等に努めました。

また、オンラインでの会議・研修を取り入れることで、より多くの参加が得られるよう取り計らい、もって次世代を担う職員の育成などを促す環境づくりに努めました。

a) 情報収集及び提供等

インボイス制度やフリーランス新法など、シルバー人材センター事業に大きな影響を及ぼす事案が生じるなか、島根労働局・島根県や全シ協、関係団体等が開催する会議・研修等に参加するなど、広く情報を収集するよう努めました。

とりわけ、フリーランス新法への対応が不透明あるいは混迷する中、連合本部の方針・見解等を加味するなど、書面や会議・研修などの機会を捉え、各センターに段階的に伝達しました。

b) 指導・相談

全シ協が示す「問い合わせ票」を有効活用して、連合本部内はもとより各センター内の情報共有に努めました。その上で、個々のセンターの運営状況や事務局体制などの実態を踏まえた指導等にあたりました。さらに、適正就業対策やシルバー派遣事業に係る事務手続きの改善などの個別事案に対しては、事実確認の上で当該センターと共同で改善対策を検討するなど、さらに一歩踏み込んだ指導・相談に努めました。

また、全シ協からの委嘱を受けた個別指導を次のとおり実施し、「60歳台の女性を対象とした介護・子育て分野へのシルバー派遣事業の展開」や「フリーランス保護法の施行を見据えた請負業務に係る適正な契約事務の履行」など、他センターでの取組事例を踏まえて、改善指導・助言を行いました。あわせて、全シ協が江津市シルバー人材センターに行った特別指導に同席した上で、

改善に向けた取組への支援を行っています。

< 定期指導日程 >

- 9月22日 (公社) 松江市シルバー人材センター
- 10月11日 (公社) 奥出雲町シルバー人材センター
- 10月30日 (公社) 浜田市シルバー人材センター
- 10月31日 (公社) 益田市シルバー人材センター

c) 交流研修会の開催等

前記の指導・相談とあいまって、全シ協がテーマごとに実施する会議・研修にあわせ、諸課題への適切な対応に資するため、実務担当者等を対象とした研修を行いました。

定例の公認会計士への相談業務の共同委託契約に基づく研修においては、インボイス制度における実務上の留意点をテーマに、今後の対応を確認しました。

名称・内容	開催月日	参加団体	参加人員
「会計経理・税務業務基本契約」に基づく研修会			
・講義 シルバー人材センターにおける適格請求書等保存方式 (インボイス制度)への対応に係る実務上の留意点 講師 衣目公認会計士・税理士事務所 氏原 謙一 氏	12月21日	10団体	22人

また、派遣元責任者・実務担当者では、島根労働局より指摘を受けた事案及び法改正等に伴う対応を踏まえ、適正な事務処理の徹底とシステムを有効に活用することで業務の適正かつ効率化を図るべく、次の研修を実施しました。

名称・内容	開催月日	参加団体	参加人員
派遣元責任者・実務担当者研修			
・説明事項 重点分野における就業拡大の取組について 体系的なキャリアアップ研修(有給)の構築について 島根労働局による指導事項及びその対応について ほか ・講義 適正かつ効率的な事務処理に係るCollabo80+の活用について 講師 NRI社会情報システム(株) 古川 慶子 氏	2月27日	13団体	33人

さらに、重点項目である「安全・適正な就業環境の確保・維持」にあたっては、引き続き事故発生時の検証・対策と自主点検と一貫したサイクルで連動する仕組みの構築を図るとともに、飛び石事故の対策を講じるための第一ステップとする実務研修を、次のとおり開催しました。

名称・内容	開催月日	参加団体	参加人員
第1回安全就業対策に係る実務研修	6月23日	12団体	18人
・県内の受託事業における就業中の傷害事故の発生状況 ・事故報告について ・「事故発生時の検証・対策」に係るケーススタディ ほか			
第2回安全就業対策に係る実務研修	2月19日	13団体	25人
・県内の受託事業における就業中の傷害事故の発生状況 ・草刈作業における飛び石事故の発生状況等について ・飛び石事故の発生原因の調査・把握について ほか			

また、フリーランス新法の施行が近づく中、センターからの要請に応じて役職員向けの研修・会議等での説明等を適宜行いました。

名称・内容	開催月日	参加団体	参加人員
高齢者活躍人材確保育成事業等による会員拡大に係る実務研修	4月14日	5団体	16人
・令和5年度高齢者活躍人材確保育成事業等について ・技能講習の実施について ・受講者管理等について ・情報・意見交換			

#### d) 短期出向の受入

センターからの申入れはなく、実施に至りませんでした。

#### カ) 未設置地域におけるシルバー人材センターの設置促進

前述のとおり重点地域におけるモデル事業に注力する一方で、その他の市町村等への働きかけにあたっては、全シ協の定期刊行物等による情報提供のほか、問い合わせ等に適宜対応するなど、関係性を維持するにとどまっています。

さりとて、美郷町シルバー人材センターが会員100人以上及び就業延日数5,000人日以上への到達が現実的になっていることから、広域化を踏まえて、当該市町村及びセンターへの働きかけを行うことができる環境が整いました。

## 2. 法人管理事業

関係法令に基づき、島根労働局及び島根県並びに公認会計士・行政書士・社会保険労務士等の専門家による指導のもと、「法令遵守（コンプライアンス）」、「内部統制（ガバナンス）」、「透明性」の確保に努め、役員の職務執行及び事務局体制の整備に努めるとともに、規程等の制定・改正を行いました。

また、安定した財政基盤の確保にあたり、前述のようにシルバー派遣事業の拡大に努めましたが、人件費を含む諸物価の高騰に追いつかず、若干後退

する状況にあります。そのため、内閣府からの「シルバー人材センター等における会計処理について（回答）」を踏まえた適正な範囲内での運転資金の積立を行っていますが、必ずしも計画どおりとはいきませんでした。

## (1) 法人における会員の状況

前記1（4）②の次のとおり、未設置地域におけるセンターの新たな設置には至らず、昨年同様の正会員数となっています。

賛助会員についても、増減はありません。

種別	団体数	異動数	備考
正会員	13	0	
国庫補助対象団体	9	0	
国庫補助対象外団体	4	0	
賛助会員	10	0	
市町村	5	0	
法人・団体・個人	5	0	

## (2) 許可、認可、承認等に関する事項

次のとおり、法人・公益法人に関するもののほか、前記1（2）の有料職業紹介事業及び労働者派遣事業などのシルバー人材センター事業に関する届出等を、所定の手続きに沿って適正に行いました。

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
令和5年4月28日	シルバー派遣事業変更届	令和5年4月28日	浜田市事務所派遣元責任者の変更(1名増)
令和5年5月19日	シルバー派遣事業変更届	令和5年5月19日	安来市事務所派遣元責任者の変更(1名減)
令和5年6月30日	シルバー派遣事業変更届	令和5年6月30日	浜田市事務所派遣元責任者の変更(1名減)
令和5年6月30日	公益変更届出	令和5年6月30日	役員の変更(4名減、4名増)
令和5年7月10日	シルバー派遣事業変更届	令和5年7月11日	役員の変更(4名減、4名増)
令和5年7月10日	有料職業紹介事業変更届	令和5年7月11日	役員の変更(4名減、4名増)
令和5年8月25日	シルバー派遣事業変更届	令和5年8月25日	浜田市事務所派遣元責任者の変更(1名増)
令和5年8月25日	シルバー派遣事業変更届	令和5年8月25日	出雲市事務所派遣元責任者の変更(1名増)
令和5年8月25日	有料職業紹介事業変更届	令和5年8月25日	出雲市事務所職業紹介責任者の変更(1名増)
令和5年10月13日	シルバー派遣事業変更届	令和5年10月13日	安来市事務所派遣元責任者の変更(1名増)
令和5年12月20日	シルバー派遣事業変更届	令和5年12月20日	津和野町事務所所在地の変更
令和5年12月20日	有料職業紹介事業変更届	令和5年12月20日	津和野町事務所所在地の変更
令和6年1月10日	有料職業紹介事業変更届	令和6年1月11日	津和野町事務所職業紹介責任者の変更(1名減、1名増)
令和6年3月25日	公益変更届出	令和6年3月25日	公1事業の内容変更 (江津市高齢者等生活支援体制整備事業関係)

### (3)会議の開催

当連合会の維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を次のとおり開催し、もって適正かつ活発な法人運営に努めました。

#### 会議の開催状況

##### 定時総会

年月日	場所	事項
令和5年6月19日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	報告事項 報告第1号 令和4年度収支補正予算の件 議事 第1号議案 会費規程の一部改正の件 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件 第3号議案 令和4年度決算報告承認の件 監査報告 第4号議案 役員選任の件 報告事項 報告第2号 令和5年度事業計画の件 報告第3号 令和5年度収支予算の件

##### 理事会

年月日	場所	回数	事項
令和5年5月29日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	第1回	報告事項 会務報告 代表理事の職務執行状況の報告 議案審議 第1号議案 シルバー派遣事業個人情報適正管理規程の一部改正について 第2号議案 特定個人情報事務取扱規程の一部改正について 第3号議案 令和4年度事業報告(案)について 第4号議案 令和4年度決算(案)について 監査報告 第5号議案 令和5年度収支補正予算(案)について 第6号議案 理事及び監事候補者(案)について 第7号議案 令和5年度定時総会の招集について
令和5年6月19日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	第2回	報告事項 役員を選任について 議案審議 第1号議案 会長(代表理事)及び専務理事(代表理事)の選定について 第2号議案 常勤役員報酬決定の件 第3号議案 令和5年度収支補正予算(案)について
令和5年11月21日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	第3回	報告事項 会務報告 代表理事の職務執行状況の報告 議案審議 第1号議案 シルバー派遣事業個人情報適正管理規程の一部改正について 第2号議案 職業紹介事業に係る個人情報適正管理規程の一部改正について 第3号議案 令和5年度収支補正予算(案)について 協議事項 ①下半期の取組等について ②その他

年月日	場所	回数	事項
令和6年1月29日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	第4回	報告事項 会務報告 その他 議案審議 第1号議案 給与規程の一部改正について 第2号議案 シルバー派遣事業実施規程の一部改正について 第3号議案 有料職業紹介事業の運営に関する規程の一部改正について 第4号議案 職業紹介事業に係る個人情報適正管理規程の一部改正について 第5号議案 令和5年度収支補正予算(案)について 第6号議案 令和6年度における役員賠償責任保険について 第7号議案 会計関係書類の処分について 協議事項 ①シルバー派遣事業派遣労働員就業規則の改正(変更)案について ②シルバー派遣事業に係る回収困難又は回収不能債権取扱要綱等の整備について ③令和6年度事業計画(素案)について ④その他
令和6年3月18日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	第5回	報告事項 会務報告 議案審議 第1号議案 給与規程の一部改正について 第2号議案 準職員就業規則の一部改正について 第3号議案 シルバー派遣事業派遣労働員就業規則の一部改正について 第4号議案 シルバー派遣事業に係る回収困難又は回収不能債権取扱要綱(案)について 第5号議案 シルバー派遣事業に係る回収困難債権取扱要領(案)について 第6号議案 令和5年度収支補正予算(案)について 第7号議案 令和6年度事業計画(案)について 第8号議案 令和6年度収支予算(案)について 協議事項

監事会

年月日	場所	事項
令和5年5月19日	タウンプラザしまね 松江市殿町8番地3	監事による監査

公益社団法人島根県シルバー人材センター連合会

## 令和5年度決算



## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
郵便振替口座	1,650	1,650	0
普通預金	28,536,590	22,285,584	6,251,006
未収金	50,270,057	41,835,517	8,434,540
前払金	765,630	676,670	88,960
流動資産合計	79,573,927	64,799,421	14,774,506
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
派遣事業運転資金費用準備資金	0	5,682,600	△ 5,682,600
特定資産合計	0	5,682,600	△ 5,682,600
(3) その他固定資産			
什器備品	2,967,992	3,584,248	△ 616,256
建物付属設備	272,920	300,416	△ 27,496
その他固定資産合計	3,240,912	3,884,664	△ 643,752
固定資産合計	3,240,912	9,567,264	△ 6,326,352
資産合計	82,814,839	74,366,685	8,448,154
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	65,489,311	57,386,763	8,102,548
預り金	601,830	373,599	228,231
流動負債合計	66,091,141	57,760,362	8,330,779
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	66,091,141	57,760,362	8,330,779
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	16,723,698	16,606,323	117,375
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 5,682,600 )	( △ 5,682,600 )
正味財産合計	16,723,698	16,606,323	117,375
負債及び正味財産合計	82,814,839	74,366,685	8,448,154

## 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
労働者派遣事業収益	526,716,868	454,079,633	72,637,235
労働者派遣事業収益	526,716,868	454,079,633	72,637,235
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	21,800,000	18,517,888	3,282,112
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	21,800,000	18,517,888	3,282,112
島根県シバ-人材活用事業受託収益	5,900,000	0	5,900,000
島根県シバ-人材活用事業受託収益	5,900,000	0	5,900,000
受取会費	3,591,300	3,331,600	259,700
正会員受取会費	3,361,300	3,101,600	259,700
賛助会員受取会費	230,000	230,000	0
受取補助金等	17,415,000	17,410,000	5,000
受取国庫補助金	8,540,000	8,540,000	0
受取県補助金	8,540,000	8,540,000	0
受取全シ協支援事業費	335,000	330,000	5,000
受取負担金	4,081,393	3,391,938	689,455
受取負担金	4,081,393	3,391,938	689,455
特定資産運用益	120	62	58
特定資産受取利息	120	62	58
雑収益	294	292	2
受取利息	294	292	2
受取賠償金	0	7,452	△ 7,452
受取賠償金	0	7,452	△ 7,452
経常収益計	579,504,975	496,738,865	82,766,110
(2) 経常費用			
事業費	576,655,780	493,449,390	83,206,390
支払会員賃金	422,385,109	363,848,543	58,536,566
支払会員法定福利費	1,428,425	1,238,136	190,289
役員報酬	540,000	540,000	0
給料手当	13,363,526	15,808,802	△ 2,445,276
準職員給料手当	12,058,522	6,476,162	5,582,360
法定福利費	4,127,288	3,647,012	480,276
退職給付費用	993,063	1,079,445	△ 86,382
福利厚生費	102,427	44,095	58,332
役員等旅費交通費	101,480	46,720	54,760
旅費交通費	729,440	439,860	289,580
通信運搬費	3,341,532	2,721,393	620,139
減価償却費	643,752	643,752	0
消耗品費	1,521,708	1,153,909	367,799
印刷製本費	263,560	75,900	187,660
光熱水料費	185,935	229,635	△ 43,700
賃借料	4,914,672	5,109,838	△ 195,166
保険料	160,798	141,576	19,222
諸謝金	0	11,000	△ 11,000
租税公課	42,214,200	36,303,700	5,910,500
支払負担金	3,841,711	3,397,938	443,773
委託費	17,416,094	9,791,645	7,624,449

科目	当年度	前年度	増減
活動拠点委託費	43,122,526	38,588,704	4,533,822
広報費	2,137,300	1,714,900	422,400
訓練委託費	676,832	0	676,832
支払手数料	385,880	349,007	36,873
貸倒損失	0	47,718	△ 47,718
管理費	2,731,820	2,846,375	△ 114,555
役員報酬	540,000	540,000	0
給料手当	703,366	1,009,072	△ 305,706
準職員給料手当	211,942	0	211,942
法定福利費	154,194	182,910	△ 28,716
退職給付費用	42,435	59,391	△ 16,956
福利厚生費	2,118	1,692	426
役員等旅費交通費	301,130	247,520	53,610
通信運搬費	52,166	57,820	△ 5,654
消耗品費	4,149	9,384	△ 5,235
光熱水料費	9,787	14,658	△ 4,871
賃借料	189,190	274,704	△ 85,514
保険料	79,500	75,500	4,000
租税公課	1,620	720	900
支払負担金	79,200	69,900	9,300
委託費	325,087	259,096	65,991
支払手数料	13,960	9,578	4,382
雑費	21,976	34,430	△ 12,454
経常費用計	579,387,600	496,295,765	83,091,835
評価損益等調整前当期経常増減額	117,375	443,100	△ 325,725
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	117,375	443,100	△ 325,725
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	117,375	443,100	△ 325,725
一般正味財産期首残高	16,606,323	16,163,223	443,100
一般正味財産期末残高	16,723,698	16,606,323	117,375
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,723,698	16,606,323	117,375

## 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
労働者派遣事業収益	526,541,868	526,541,868	175,000	526,716,868
労働者派遣事業収益	526,541,868	526,541,868	175,000	526,716,868
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	21,800,000	21,800,000	0	21,800,000
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	21,800,000	21,800,000	0	21,800,000
島根県シルバー人材活用事業受託収益	5,900,000	5,900,000	0	5,900,000
島根県シルバー人材活用事業受託収益	5,900,000	5,900,000	0	5,900,000
受取会費	1,317,100	1,317,100	2,274,200	3,591,300
正会員受取会費	1,087,100	1,087,100	2,274,200	3,361,300
賛助会員受取会費	230,000	230,000	0	230,000
受取補助金等	17,415,000	17,415,000	0	17,415,000
受取国庫補助金	8,540,000	8,540,000	0	8,540,000
受取県補助金	8,540,000	8,540,000	0	8,540,000
受取全シ協支援事業費	335,000	335,000	0	335,000
受取負担金	4,081,393	4,081,393	0	4,081,393
受取負担金	4,081,393	4,081,393	0	4,081,393
特定資産運用益	120	120	0	120
特定資産受取利息	120	120	0	120
雑収益	0	0	294	294
受取利息	0	0	294	294
経常収益計	577,055,481	577,055,481	2,449,494	579,504,975
(2) 経常費用				
事業費	576,655,780	576,655,780	0	576,655,780
支払会員賃金	422,385,109	422,385,109	0	422,385,109
支払会員法定福利費	1,428,425	1,428,425	0	1,428,425
役員報酬	540,000	540,000	0	540,000
給料手当	13,363,526	13,363,526	0	13,363,526
準職員給料手当	12,058,522	12,058,522	0	12,058,522
法定福利費	4,127,288	4,127,288	0	4,127,288
退職給付費用	993,063	993,063	0	993,063
福利厚生費	102,427	102,427	0	102,427
役員等旅費交通費	101,480	101,480	0	101,480
旅費交通費	729,440	729,440	0	729,440
通信運搬費	3,341,532	3,341,532	0	3,341,532
減価償却費	643,752	643,752	0	643,752
消耗品費	1,521,708	1,521,708	0	1,521,708
印刷製本費	263,560	263,560	0	263,560
光熱水料費	185,935	185,935	0	185,935
賃借料	4,914,672	4,914,672	0	4,914,672
保険料	160,798	160,798	0	160,798
租税公課	42,214,200	42,214,200	0	42,214,200
支払負担金	3,841,711	3,841,711	0	3,841,711
委託費	17,416,094	17,416,094	0	17,416,094
活動拠点委託費	43,122,526	43,122,526	0	43,122,526
広報費	2,137,300	2,137,300	0	2,137,300
訓練委託費	676,832	676,832	0	676,832

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
支払手数料	385,880	385,880	0	385,880
管理費	0	0	2,731,820	2,731,820
役員報酬	0	0	540,000	540,000
給料手当	0	0	703,366	703,366
準職員給料手当	0	0	211,942	211,942
法定福利費	0	0	154,194	154,194
退職給付費用	0	0	42,435	42,435
福利厚生費	0	0	2,118	2,118
役員等旅費交通費	0	0	301,130	301,130
通信運搬費	0	0	52,166	52,166
消耗品費	0	0	4,149	4,149
光熱水料費	0	0	9,787	9,787
賃借料	0	0	189,190	189,190
保険料	0	0	79,500	79,500
租税公課	0	0	1,620	1,620
支払負担金	0	0	79,200	79,200
委託費	0	0	325,087	325,087
支払手数料	0	0	13,960	13,960
雑費	0	0	21,976	21,976
経常費用計	576,655,780	576,655,780	2,731,820	579,387,600
評価損益等調整前当期経常増減額	399,701	399,701	△ 282,326	117,375
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	399,701	399,701	△ 282,326	117,375
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	399,701	399,701	△ 282,326	117,375
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	399,701	399,701	△ 282,326	117,375
一般正味財産期首残高		4,376,716	12,229,607	16,606,323
一般正味財産期末残高		4,776,417	11,947,281	16,723,698
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0	0	0
(2) 費用				
費用計	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		4,776,417	11,947,281	16,723,698

## 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
派遣事業運転資金準備資金	5,682,600	4,317,400	10,000,000	0
合計	5,682,600	4,317,400	10,000,000	0

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
派遣事業運転資金準備資金	0	(0)	(0)	(0)
合計	0	(0)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	5,588,892	2,620,900	2,967,992
建物付属設備	410,400	137,480	272,920
合計	5,999,292	2,758,380	3,240,912

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等補助金	厚生労働省	0	50,332,000	50,332,000	0	流動負債
雇用開発支援事業費等補助金	厚生労働省	0	50,248,000	50,248,000	0	流動負債
高齢者就業機会確保事業費等補助金	厚生労働省	0	5,499,000	5,499,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	厚生労働省	0	3,041,000	3,041,000	0	—
(公社)島根県シルバー人材センター連合会補助金	島根県	0	8,540,000	8,540,000	0	—
合計		0	117,660,000	117,660,000	0	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

該当なし

## 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	預金	普通預金 山陰合同銀行県庁支店	高齢者就業機会確保事業の運転資金として	25,130,371
		普通預金 山陰合同銀行県庁支店	高齢者活躍人材確保育成事業の運転資金として	1,307,171
		普通預金 山陰合同銀行県庁支店	島根県シルバー人材活用事業の運転資金として	98,491
		普通預金 山陰合同銀行県庁支店	法人管理の運転資金として	2,000,557
		当座預金 ゆうちよ銀行一三九店	高齢者就業機会確保事業等の運転資金として	1,650
	未収金	令和5年度育成事業団体損害保険確定に伴う返戻金	高齢者活躍人材確保育成事業に対する未収額	2,345
		令和6年2、3月分他派遣事業収益等	シルバー人材センター事業の派遣事業等に対する未収額	46,823,922
		拠点センター 派遣事業に係る負担金	シルバー人材センター事業の派遣事業に対する未収額	481,517
		島根県シルバー人材活用事業委託料	シルバー人材センター事業の島根県委託事業に対する未収額	2,950,000
		令和5年度労働保険被保険者負担分	シルバー人材センター事業等に対する未収額	2,397
		令和5年度労働保険確定保険料	シルバー人材センター事業の派遣事業に対する未収額	9,876
	前払金	令和6年度派遣事業賠償責任保険他	シルバー人材センター事業に対する前払い額	686,130
		令和6年度役員賠償責任保険他	法人管理に対する前払い額	79,500
流動資産合計				79,573,927
<b>(固定資産)</b>				
その他固定資産	什器備品	スチールパーテーション他	シルバー人材センター事業の事務所施設及び事務管理として使用している	2,967,992
	建物付属設備	電気設備工事	シルバー人材センター事業の事務所施設に係る設備工事	272,920
固定資産合計				3,240,912
資産合計				82,814,839



貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)				
未払金	準職員3名 3月分給与		シルバー人材センター事業に供する未払額	439,280
	職員2名 3月分超過勤務手当		シルバー人材センター事業等に供する未払額	25,437
	職員2名 3月分超過勤務手当		法人管理に供する未払額	1,339
	派遣会員 3月分賃金等		シルバー人材センター派遣事業に供する未払額	37,311,665
	島根労働局 令和5年度労働保険(事業主負担分)		シルバー人材センター派遣事業等に供する未払額	96,005
	島根労働局 令和5年度労働保険(事業主負担分)		法人管理に供する未払額	438
	拠点センター 派遣事業に係る協力費		シルバー人材センター派遣事業に供する未払額	9,894,525
	全国シルバー人材センター企業年金基金 3月分掛金(事業主負担分)		シルバー人材センター事業等に供する掛金未払額	41,189
	全国シルバー人材センター企業年金基金 3月分掛金(事業主負担分)		法人管理に供する未払額	1,525
	松江年金事務所 2月分社会保険料(事業主負担分)		シルバー人材センター事業等に供する保険料未払額	232,493
	松江年金事務所 3月分社会保険料(事業主負担分)		シルバー人材センター事業等に供する保険料未払額	228,792
	松江年金事務所 2月分社会保険料(事業主負担分)		法人管理に供する未払額	8,684
	松江年金事務所 3月分社会保険料(事業主負担分)		法人管理に供する未払額	8,539
	業務委託料等		シルバー人材センター派遣事業に供する業務委託料等の未払額	1,081,046
	業務委託料等		シルバー人材センター事業等に供する業務委託料等の未払額	1,095,457
	業務委託料等		法人管理に供する業務委託料等の未払額	40,397
	松江税務署 令和5年度消費税		シルバー人材センター事業等に供する消費税未払額	14,982,500
預り金	役職員社会保険料他		シルバー人材センター事業等の役職員からの社会保険料、源泉所得税、住民税等預り金	601,830
流動負債合計				66,091,141
負債合計				66,091,141
正味財産				16,723,698